

令和2年度 女子 2部適用規則

採点規則 2017年版 変更規則 I を以下のように部分変更して、大阪高体連2部適用規則とする。

【演技の採点】

Dスコア（構成）

難度点 (DV)	<p>跳馬・・・2017年版採点規則の難度点に1.00点をプラスする。</p> <p>段違い平行棒・・・終末技を含む最大8つの高い順からの難度を数える。</p> <p>平均台・・・終末技を含む最大8つの高い順からの難度を数える。 *アクロバット系、ダンス系の区別はおこなわない。</p> <p>ゆか・・・最大8つの高い順からの難度を数える。 *アクロバット系、ダンス系の区別はおこなわない。</p> <p>同一技の難度は演技の中で1回のみ承認される。</p>
構成要求 (CR)	4つの構成要求（各0.5×4）最大で2.00
加点	<p>段違い平行棒、平均台、ゆかの演技において</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い演技に対して最大で0.50を与える （一部分または演技全体の流れに対して評価する） *美しさ（体線・開脚度） *雄大さ（宙返りの高さ・振幅の大きさなど） ・種目特有の加点（+0.5） <各種目の項目に記載>

Eスコア（実施）

10.00 から、実施と芸術性の減点をおこなう。

短い演技

短い演技の場合、Eスコアの最高点は以下の通り。	
6技以上の実施	10.00
5技の実施	8.00
4技の実施	6.00
3技の実施	5.00
2技の実施	4.00
1技の実施	3.00

【各種目の規則】

跳馬	跳躍台の高さ 120 cm
	開脚跳び・閉脚跳び・台上前転のDスコアは1.00とする。Eスコアは5.00から減点する。
	台上倒立前転のDスコアは2.00とする。Eスコアは7.00から減点する。
	2回の跳躍を実施し、良いほうのスコアを有効点とする。
	禁止技…宙返りを伴う跳躍技

	構成要求 (CR)	種目特有の減点	A難度を認められる技	備考
段 違 い 平 行 棒	① 低棒け上がり ② 高棒け上がり ③ 棒に近い回転系の技 ④ ③とは異なる回転系の技 種目特有の加点 終末技がA難度以上であれば、 +0.5 の加点を与える。	「低棒から高棒へジャンプして移動する-0.5」を削除する	・さかあがり (開始技) ・そんきよ ・高棒～ 棒下振り出し下り	禁止技… C難度以上の技 (倒立局面を逸脱することによって難度が変わる技は禁止技としない) (例) 後方浮支持回転倒立
平 均 台	① 180度開脚 (前後または左右) または左右開脚屈身のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つのダンス系の技からなる組み合わせ ② 片足上のターン (360度以上) ③ 前方/側方のアクロバット系の技 (前転を除く) ④ 後方のアクロバット系の技 (後転を除く) 種目特有の加点 終末技がA難度以上であれば、 +0.5 の加点を与える。	変更なし	・伸身とび ・かかえ込みとび ・前転 ・後転 ・前転とび下り ・側転とび下り ・片足踏み切り 側方伸身宙返り下り ・片足踏み切り 前方伸身宙返り下り	禁止技… C難度以上の技 (ダンス系の技を除く)
ゆ か	① 180度の前後/左右開脚または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つのリープまたはホップの直接または間接の組み合わせでの移動 ② 片足上のターン(360度以上) ③ 前方/側方の空中局面を伴うアクロバット系の技 ④ 後方の空中局面を伴うアクロバット系の技 種目特有の加点 以下の実施があれば、+0.5 の加点を与える。 3つの技からなるアクロバット系シリーズ(3つとも空中局面を持つアクロバット系の技であること)	変更なし	・前方倒立回転 ・側方倒立回転 ・後方倒立回転 ・倒立前転 ・後転倒立 ・かかえ込みとび	禁止技… C難度以上の技 (ダンス系の技を除く)

- 注 ①A難度を認められる技も構成要求 (CR) に使用できる。ただし、平均台の前転、後転は使用できない。
 ②段違い平行棒のさかあがりは開始技でのみ難度を認める。(開始技で、低棒け上がりを行ったが難度が承認されなかった。そののち、さかあがりを行ったとき、さかあがりの難度は認める。)
 ③ゆかの空中局面をともなうアクロバット系の技に、前転とび、後転とび、ロンダートは含まれる。

【採点の指針】

跳馬	<ul style="list-style-type: none">・美しい体線での実施・スピードと迫力のある実施・高さのある実施
段違い 平行棒	<ul style="list-style-type: none">・演技全体を通してスピードと迫力のある実施・振幅の大きい実施・肘の曲がり、膝やつま先の緩みのない美しく伸びた体線での実施
平均台	<ul style="list-style-type: none">・立ち姿勢を含めた技と技の間の動きにおいても常に美しい姿勢での実施・アクロバット系、ダンス系の技での正確な実施・リズムの変化がありメリハリと流れのある演技
ゆか	<ul style="list-style-type: none">・立ち姿勢を含めた技と技の間の動きにおいても常に美しい姿勢での実施・アクロバット系、ダンス系の技での正確な実施・演技面を大きく使用した躍動感のある演技